

消防団

な

が

お

か

令和元年 5 月
編集発行
長岡市消防団

令和元年度消防団幹部



中之島方面隊長 斐澤 雄児	三島方面隊長 帆苅 茂	和島方面隊長 本間 孝之	寺泊方面隊長 丸山 晃	与板方面隊長 波形 正広	栃尾方面隊長 笠井 正巳	川口方面隊長 丸山 勝政	山古志方面隊長 星野 和弘
本部員長 小林 守	長岡中央方面隊長 金子 隆一	長岡南部方面隊長 小林 孝行	長岡北部方面隊長 吉野 博文	長岡川西方面隊長 重山 靖浩	長岡西部方面隊長 伊津 敏	越路方面隊長 大石 一栄	小国方面隊長 桑原 勝利
	副団長 早川 吉久	副団長 小林 一福	消防団長 鈴木 守	副団長 倉内 哲司	副団長 山田 登喜夫		

新

年度の

消防団ながおかは

消防団幹部の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
 長岡市消防団人事異動等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
 行事予定、お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
 長岡市消防団互助会事業等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4、5
 フェニックスだより・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6



岡市消防団人事異動（方面隊長以上）



退職者（3月31日付け）	昇任・配置換者（4月1日付け〔 〕内は旧任）
・ 消防団長 五井 文雄	・ 消防団長 鈴木 守 [副団長] ・ 副団長 山田 登喜夫 [川口方面隊長] ・ 川口方面隊長 丸山 勝政 [川口方面副隊長]

五井様におかれましては、第15代長岡市消防団長として、消防団の装備品等の充実強化に取り組まれるなど、5年間のご功労に敬意を表するとともに、感謝申し上げます。
新体制のもと、より良い消防団活動を行うため一丸となって取り組んでまいります。



< 4月3日に行われた消防団長歓送迎会の様子 >



鈴木新団長から五井前団長へ記念品贈呈



磯田市長の挨拶



櫻井元団長による乾杯



和元年度長岡市消防団行事予定



月 日	時 間	行 事 内 容	場 所
5月19日(日)	9:00~11:30	大河津・長岡・越路地区合同水防訓練	小千谷市
5月28日(火)	19:30~21:00	魚野川夜間水防訓練	魚沼市
6月2日(日)	7:45~12:30	長岡市消防団ポンプ操法競技会 (兼新潟県消防協会長岡地区支会代表選考会)	長岡市消防本部 長岡市民防災公園
6月7日(金)	19:00~20:45	市長・消防団幹部懇談会	長岡グランドホテル
8月4日(日)	8:30~16:15	第70回新潟県消防大会	上越市
10月13日(日)	午前	秋季消防演習(15方面隊合同)	未定
10月20日(日)	午前	長岡市総合防災訓練	未定
1月5日(日)	午後	長岡市消防出初式	大手通り アオーレ長岡



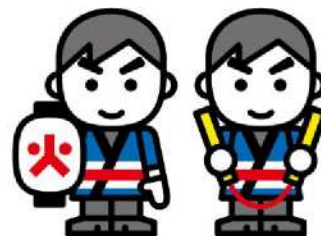
消防団員が利用できる新規優遇施設について

記

- 1 施設名 新潟日報カルチャースクール長岡教室
(TEL 0258-34-9606)
- 2 場 所 長岡市千歳1丁目3番34号
- 3 優遇内容 教室入会金(2,160円)が無料
- 4 対象者 長岡市消防団の団員及びその家族(同居に限る)

※ 各講座で受講料が異なりますので、詳細は同施設のホームページ等で確認してください

長岡市消防団互助会事業について



消防団員の福利厚生及び相互扶助を図ることを目的として、全消防団員で組織し、運営しています。
次表に該当する事案が発生しましたら、分団長等の所属長を通じて、事務を担当する消防署（出張所）又は川口支所地域振興課に報告し、請求手続きをしてください。

長岡市消防団互助会			年会費 500 円（9 月、3 月支給の年報酬から 250 円ずつを徴収）
弔慰金	本人死亡	公務、公務外を問わず	<ul style="list-style-type: none"> ・香典 100,000 円 ・御明し（料） 2,000 円 ・花輪（花料） 15,000 円
	家族等死亡	同居の親族で次に掲げるもの <ul style="list-style-type: none"> ・配偶者 ・子 ・実父母、養父母、義父母 	<ul style="list-style-type: none"> ・香典 10,000 円 ・御明し（料） 2,000 円
災害見舞金		住居の全部を焼失、滅失	50,000 円
		住居の 5 分の 1 以上を焼失、滅失	30,000 円
		借家等の 5 分の 1 以上を焼失、滅失（会長が認めたとき）	20,000 円以内
療養見舞金		公務による疾病で入院 30 日以上	10,000 円
活動助成金 (請求手続き不要)		新潟県消防大会ポンプ操法競技会	出場分団への助成 100,000 円
		市ポンプ操法競技会助成金	出場分団への助成 30,000 円
		新潟県消防学校入校者	1 日につき 5,000 円
		その他	代議員の協議により決定

※ 弔慰金、災害見舞金及び療養見舞金に伴う請求期間は、給付理由が生じた日から 1 年以内です。



消防団員の公務災害について



消防団員の皆さんが、災害活動や訓練等によりけがをした場合は、公務災害として各種補償が適用されます。

万が一けがをした場合は、所属の分団長等を通じて、速やかに方面隊等の事務を担当する消防署（出張所）又は川口支所地域振興課に報告してください。（まず口頭で報告をお願いします。）



※ けがをした本人又は同行者は、医療機関での初診時に、「公務による負傷」であることを説明し、診察等にかかった費用（薬剤含む）は支払わないでください。後日、報告を受けた担当職員が医療機関等への支払い手続きを行います。



日本消防協会福祉共済制度等について



消防団員本人が、死亡若しくは障害を負った場合や病気・けが等で入院した場合は、次表の範囲内で弔慰金又は見舞金が支給されます。

	弔慰金・見舞金等	
	公務中	公務外
日本消防協会福祉共済制度	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡 2,300万円 ・重度障害 2,300万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡 100万円 ・重度障害 100万円 ・障害の等級により6万円～50万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・病気・けが等で入院（7日以上入院で120日以内） 1日につき1,500円 	
新潟県消防協会互助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡 10万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡 5万円



フェニックスだより

令和を迎え、広報指導分団員を募集！

今年度より長岡市消防団広報指導分団の分団長を拝命した星野一郎と申します。

すでにご存じの方も多いと思いますが、広報指導分団は防火広報や高齢者世帯などの防火訪問・地域住民への応急手当指導・各種行事などでの消防団のPR活動を中心に多くの女性団員が活躍しています。活発で元気な女性たちのなかで、黒一点頑張っています。

現在わが国では、総人口が減少する一方で、65歳以上の高齢者人口が増加しています。団塊の世代が75歳以上となる2025年には、総人口1億2,254万人のうち、65歳以上の高齢者は3,677万人となり、高齢化率が30%を超える時代を迎えます。

長岡市においても少子高齢化や人口減少が確実に進んでおり、高齢化率は全国平均と比べ、高くなっています。加えて、核家族化の進行に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。また、山間部から市街地、海岸部までと特色のある地域に加え、それぞれの地域における課題や市民ニーズが、複雑化、多様化しています。このような状況の中、さらに広報指導分団の役割りは重要性が増すと思われます。広報指導分団に興味のある方、地域貢献したい方、一緒に活動しませんか。入団をお待ちしています。

広報指導分団 分団長 星野一郎



令和元年度の主な活動予定



◎普通救命講習会（通年）

町内会の防災訓練やPTAの皆さんに向けて、普通救命講習会を実施しています。全分団員が応急手当普及員資格の取得を目指しています。



◎高齢者宅防火訪問（11月）

高齢者のお宅を回り、住宅用火災警報器の設置状況調査や防火・防災についてお声がけをします。5年前からスタートし、昨年は約120軒に訪問しました。



◎防火訓練・フェア（通年）

防火・防災の啓発活動、煙体験ハウス、お子さんへ防火衣の着装体験などのサポートを行います。



◎防災紙芝居（通年）

幼稚園や保育園、小学校の子どもたちに向けて、防火・防災についての紙芝居を披露しています。



◎春季消防演習（5-6月）

各方面隊の春季消防演習へ伺い、会場アナウンスやプラカード持ち、表彰補助などを行っています。

※防災紙芝居や普通救命講習会の依頼は、消防本部総務課（☎35-2192）までお願いします。